

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会 代表質問

## □質問順位及び質問所要時間

3月 8日 (火) 午前10時～

- 1 田村富男議員 鹿真会・公明 (60分)
- 2 成田哲男議員 誠心会 (60分)
- 3 黒澤一夫議員 鹿山会 (60分)

## □質問時間割当表

	10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
3月8日 (火)	田村富男 (60分)	休憩 10分間	成田哲男 (60分)	休 憩	黒澤一夫 (60分)	

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		公約の実現について		<p>① 市長の公約は、これまで市が実施してきた施策や第7次総合計画の中の施策から市長が優先的に取り組もうとする5点を抽出したものと受け止めてよいか。</p> <p>② 5つのビジョンにおいて実施する具体的事業の中で、これまでなかった新しい事業はあるか伺う。</p> <p>③ 市内で分娩機能を有する産婦人科を再開することは可能だと考えるか。可能と考える場合、その根拠について伺う。</p> <p>④ 市政のこれまでの実績を踏まえて、さらに前進させてほしいと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>⑤ 「北東北ゴールド構想」はどのような内容か。また、その実現に向けては、政策として取り組むなど実施計画について考えはあるのか。さらに、今任期中の実現を目指すのか、それとも次の任期以降も含めた期間での実現を考えているのか伺う。</p>			
2		鹿角市の存続について		<p>① これから先、令和何年辺りに年少人口構成比が上昇傾向に変わり、人口構成比が改善に向かうとの期待をしているのか伺う。</p> <p>② 令和47年の推計人口は1万2,909人であるが、現行の諸制度や行政サービスは継続できなくなるものも少なくないと思うが、そのような状況になっても鹿角市は存続していると考えるか伺う。</p> <p>③ 市町村合併についてどのように考えるか。また、単独の市で存続できるように対策を講じていくのか。さらに、広域連携や県による補完についてどのように考えるか伺う。</p> <p>④ 居住の誘導を提案するが、住宅の新築や移築に対して、遊休市有地の提供、用地購入費や住宅建設費の一部助成などができないか伺う。</p>			
3		行財政運営について		<p>① 行政サービスについて、優先度によって取捨選択を検討したことはあるか。また、最近の事例とその理由について伺う。</p>			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
4		高齢者対策について		<p>② 総務課デジタル行政推進室は、行政事務に関する財源と職員業務量の限界を補う役割も担うのか伺う。</p> <p>③ 今後10年間の市職員数の推計を伺う。また、市長と管理職の意見交換や意識の共有はどのようにしているのか。トップダウン型かボトムアップ型か。職員の意見が市長と異なる場合の対応や、職員が提案しやすい環境にあるか。また、「心理的安全性」は確保されているか伺う。</p> <p>① 高齢者の孤立化の状況をどのように把握し、どのような対策を講じているか伺う。</p> <p>② 高齢者が迷うことなく運転免許を返納できる環境が整えられているか伺う。</p> <p>③ 移動手段の確保に困っている高齢者の状況をどのように把握しているか。また、支援を必要とする声が上がっていないか伺う。</p> <p>④ 市職員は定年退職後も働けるのか。また、会計年度職員の雇用に当たり、年齢制限はあるか。さらに、70歳までの就業機会の確保について市は率先して行うべきと考えるがどうか。</p>			
5		たばこを吸う人と吸わない人の共存について		<p>① 市たばこ税の最近3か年の収入額の推移及び市財政への貢献度をどのように考えているか。さらに、たばこを地元で買うように啓発しているか伺う。</p> <p>② 現在も葉たばこの生産を奨励しているのか伺う。</p> <p>③ 市民の健康のために禁煙を法律で定める以上に厳しくし、他方では葉たばこの生産を奨励するとなれば、市の施策間に矛盾があることにならないか伺う。</p> <p>④ 市の施設においても、法律で認められている範囲内で喫煙場所を設ける考えはないか伺う。</p>			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	成田 哲男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		人や地域の活力を生む交流促進について		① 市内の事業所や団体と大学等とのネットワークによる域学連携プログラムの具体的な内容を伺う。 ② 武蔵野大学の専門研究ゼミの誘致のほかに新しい調査研究を行う大学を誘致する計画だが、研究内容などについて伺う。 ③ 鹿角版サテライトキャンパスの具体的な内容について伺う。			
2		対話、交流による透明で活力ある市政について		① 市長は就任後、「いつでも市長室」を様々な団体等と開催をし、また職員とのミーティングも実施しているが、その中での意見など新年度の計画に取り入れたものはあるか伺う。 ② 地域の課題やコミュニティーの活性化に向けた取り組みを強化するため、「地域づくりミーティング」を新たに計画しているが、どのような形で行うのか伺う。			
3		市制 50 周年について		① 新年度に市制 50 周年関係の事業が新規または冠をつけての計画がされているが、その内容について伺う。			
4		医師確保対策について		① 産科医等の医師確保対策をさらに強化するようだがその手段等について、また、今後の見込みについて伺う。			
5		デジタル化について		① 市民サービスと利便性の向上を図るためサービスを拡充し、事務の迅速化、効率化により行政の経営力を高めるためのデジタル化をどのように進めていくのか伺う。			
6		就労支援について		① 県では賃金水準向上に関し、女性、若者の雇用の場をつくる計画である。市の新年度施策に所得向上を図るとあるが、その具体的な内容について伺う。			
7		新型コロナウイルス感染症について		① 3回目の接種率は2月中旬で14.6%と聞いているが、個人接種や集団接種などを含めた今後の予定について伺う。			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	成田 哲男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
8		世紀越えトンネル建設について		② 2回目までのメーカーと別のメーカーのものを3回目に交互接種した場合の有効性について伺う。 ③ 5～11歳の子供への接種はどうか。国は努力規定は適用しない方針のようだが市の考えを伺う。 ① 現在、田子町とともに協議会をつくり、国や県に対しトンネル建設についての要望活動をしているが、実現に向けて進めるために市としてどのような考えを持っているか伺う。			
9		世界遺産登録による今後の課題について		① 大湯環状列石の県道移設について、登録になった後の県の方針は現在はどうなっているか。また、これについて県と市の協議は進んでいるか伺う。 ② 移設ルートを選定では、県は地元の調整などは市に任せたいということだが、今後の計画はどのようにしているか伺う。 ③ ストーンサークル館の周りに商業施設をとという意見が前からあるが、景観条例やその他の規則を含め可能なことを検討できないか伺う。			
10		新エネルギービジョンと再生可能エネルギーについて		① 素案に対しパブリックコメントを募集した結果、どのような意見があり、どう反映させるか伺う。 ② 市のビジョンに対する市民の理解はどのくらいあると考えるか。また、今後理解を深めてもらうためにどのようにしていくか伺う。 ③ 使用済みの太陽光パネルの再資源化する取り組みが秋田県でも始まるようだ。2030年には大量のパネルが処分される予想であるが、処理に関するシステムの構築は県や市としてどこまで検討されているのか伺う			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	2	会派名	誠心会	代表質問者	成田 哲男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
11		鹿角の統合校について		① 2年後の開校を迎える統合校であるが、通学に関して交通費の補助などについて現在何か検討しているか伺う。			
12		官製談合第三者委員会について		① 官製談合再発防止のための第三者委員会が設置され、2月に1回目が開催された。その中で出た意見などについて伺う。また、今後はどのように進められていき、最終報告の予定などについて伺う。			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
1		第7次基本計画、笑顔あふれるまちづくり・人口減少に対する取り組みについて		<p>① 住み良い生活環境づくりのため、次の事項についてどのような取り組みを進めていくものか伺う。                      (ア)地域医療体制の充実、鹿角で出産できるよう産科の開設について。                      (イ)雇用の安定、働く場の確保について。                      (ウ)子育て支援の充実について。                      (エ)高齢者福祉の充実について。</p> <p>② 転入者増加への取り組みが必要と考えるが状況はどうか。平成27年の転入者数から昨年まで年々減少しているが、当市の魅力が減少しているのか。移住を考えている方や転入者等への広報活動を活発に展開していただきたいが考えを伺う。</p> <p>③ 笑顔あふれる若い世代の希望をかなえるまちづくりについて、その取り組み・効果が十分周知されていないのではないか。進学や就職等で転出した若者が鹿角に戻るといふ移住政策とUターン政策の組み合わせが重要であると考えますが現状はどうなっているのか伺う。</p>			
2		コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとワクチン接種について		<p>① コロナウイルスの感染拡大防止のため、これまでの取り組みの検証と今後の拡大防止のための対応策を伺う。</p> <p>② 未就学児・小学生・中学生への接種も重点的に進めたら良いと考える。副反応の心配もあるが取り組みを伺う。</p> <p>③ 秋田県や鹿角市は全国の感染状況に比較して少ないほうである。3回目のワクチン接種も早期に終了してほしいと考えるが、その取組状況について伺う。</p>			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
3		農林業の振興と食糧の生産拡大への取り組みについて		<p>① 国民の主食である米は、食料品の中でも最重要である。現在主食用米の作付は事前に面積調整をして営農を行っている。転作品目ではソバが大きな面積となっているが、大豆の作付も市の特産品として強力に進めたら良いと考えるが取り組みを伺う。</p> <p>② 不作付農地や水田は数年で荒廃し、復元は大変である。日本の食糧生産基地として、末永く機能を保持することが大切であると考え。農業委員会の現地確認作業とも併せ農家との一体性をもって農地を保全するよう取り組むべきと考えるが状況を伺う。</p> <p>③ 市内林地の皆伐や木伐の搬出が見受けられる。植物の空気清浄力、緑の癒し、安らぎは大切であると考え、市内林地の伐採面積は年間どのくらいの面積となっているのか。また、再造林面積は、皆伐された面積と同等であれば良いと思うが末永く山林と緑を守るための再造林の取り組みはどのように進めているか伺う。</p>			
4		公共サービスの提供に資する施設の管理運営について		<p>① 利用廃止や休校・閉校等による未利用状態の建物について、個々に今後の方向付けを行い早期に対処すべきと考えるがこのことについて伺う。</p> <p>② 市道や橋梁の建築後の年数経過の多いもの、また、痛みが大きいものの箇所はどのくらいあるか伺う。</p> <p>③ これらの改修等について、年次計画を立て市民の安全安心とかかる工事費の節減に取り組んでいただきたいが、この取り組みについて現状はどのくらいの期間と工事費用がかかるものか伺う。</p>			

# 令和4年第2回鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	3	会派名	鹿山会	代表質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
5		上水道と公共下水道の施設の安全運転と利用率向上の取り組みについて (水道水の安定供給と生活排水対策)		<p>① 市民が安心して日常生活を送るため、また、いつでもおいしい水道水を飲用できることは大変すばらしいことである。しかしながら、八幡平地区、十和田地区には市の上水道が利用できない地区もあることから、その対応策について伺う。</p> <p>② 公共下水道の施設の整備と普及は大切な社会インフラである。また、長期にわたり安定的に運営するためにはエリア内の市民の加入利用が肝要であるが、区域内での加入率はここ数年どのように向上しているものか伺う。</p> <p>③ 上水道事業は、自然災害等で予期せぬ事態が起りかねない。また、水道管は地中にあり漏水及び腐食や破損に対し常に配意しなければならないと思うが、定期的に対応し予算の措置が十分なされているか伺う。</p>			
6		土床式体育館の整備とスポーツ振興について		<p>① 市民スポーツ振興と健康増進のため、使用を休止している旧学校体育館を活用して、土床式体育施設の増設充実を図るべきと考えるがこのことについて伺う。</p> <p>② 長い降雪期である冬期間に本市はスキー一色となる。スキー以外のスポーツの定着も市民の健康増進のためには必須であると考えますが取り組みについて伺う。</p>			